

(独)国際農林水産業研究センター無駄削減プロジェクトチーム(第1回)
議 事 概 要

1. 日 時： 平成21年7月28日(火) 16:00～

2. 場 所： 理事室

3. 議事概要：

- 1) 平成21年度の無駄削減に係る取組目標について、決定した。
- 2) 1者応札等となった契約の改善方策について、決定した。

4. 資 料：

- 1) 独立行政法人国際農林水産業研究センター無駄削減プロジェクトチーム
平成21年度取組目標(別紙1)
- 2) 「1者応札・1者応募」に係る改善方策について
(別に公表 http://www.jircas.affrc.go.jp/koukai/cyoutatsu/pdf/1sha_osatsu.pdf)

別紙 1

独立行政法人国際農林水産業研究センター無駄削減プロジェクトチーム 平成 21 年度取組目標

1 平成 21 年度予算の執行段階における無駄の削減

中期計画における業務運営の効率化に関する目標（中期目標期間中（平成 18 年度から平成 22 年度まで）に毎年度平均で少なくとも前年度比で、業務経費を 1%削減、一般管理費を 3%削減）の着実な達成を図るため、平成 21 年度予算における支出の無駄削減に資する以下の取組を実施する。

(1) 公共調達最適化

「随意契約見直し計画」に基づき、一般競争入札等（競争入札及び企画競争・公募）の競争性の高い契約方式への移行に努める。

平成 20 年度に 1 者応札・1 者応募となった契約について、その要因を検討し改善方策を策定するとともに見直しに努める。

公益法人への支出については四半期毎に取りまとめ、その動向について点検する。

(2) 事業用車の削減

独立行政法人整理合理化計画に基づき、平成 21 年度中に 3 台削減する。

(3) その他

割引制度の適用がない、日程が直前まで定まらない等の事情がある場合を除き、割引運賃及びパック商品等を利用することにより、出張旅費の効率化を図る。

拠点（沖縄県石垣市）との通信には、インスタントメッセージングサービス電話を活用する。

2 平成 22 年度予算の策定に向けた無駄の削減

(1) 平成 21 年度の支出状況の点検

業務経費及び一般管理費の支出の状況を四半期毎に取りまとめ、職員へ周知するとともに、執行状況の点検を行う。

(2) 平成 22 年度予算への反映

(1) の点検結果等を踏まえ、予算執行状況、決算の状況及び評価結果等を適切に反映した平成 22 年度予算配分を行う。

(3) 外部機関からの指摘に対する対応

会計検査院からの指摘、政策評価・独立行政法人評価委員会等の指摘事項等についてフォローアップを行い、必要に応じ、平成 22 年度計画及び予算配分へ反映する。

3 一人一人の役職員の意識改革

以下の取組を行い、無駄な支出の削減に対する一人一人の役職員の意識を高める。

(1) 役職員からの提案の募集

役職員から無駄の削減に関する提案を募集し、有効な提案については適切に取り組む。

(2) 役職員間での意識の醸成

各種会議やイントラネット等を通じ、本取組目標や役職員からの提案など情報を共有し、役職員への啓発等に取り組む。